



## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社Speee 上場取引所 東  
 コード番号 4499 URL https://speee.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 英樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 西田 正孝 TEL 050 (1748) 0088  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績 (2020年10月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	6,014	30.7	593	14.0	600	24.6	635	25.2	353	△34.7
2020年9月期第2四半期	4,600	—	520	—	481	—	507	—	542	—

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 347百万円 (△37.3%) 2020年9月期第2四半期 554百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	35.40	34.78
2020年9月期第2四半期	61.69	—

- (注) 1. 当社は、第2四半期の業績開示を2020年9月期より行っているため、2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 2020年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式が当時非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。  
 3. EBITDA=税金等調整前四半期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	7,655	4,366	57.0
2020年9月期	7,336	3,997	54.5

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 4,365百万円 2020年9月期 3,996百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,589	34.7	1,051	35.2	1,013	50.1	561	37.7	55.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	10,095,350株	2020年9月期	9,901,900株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	－株	2020年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	9,999,063株	2020年9月期2Q	8,787,869株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

(報告セグメントの変更等について)

当第2四半期連結会計期間より、従来、「X-Tech事業」としていた報告セグメントの名称を「不動産DX事業」に、「MarTech事業」としていた報告セグメントの名称を「マーケティングDX事業」に変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは「解き尽くす。未来を引きよせる。」をミッションとし、分散したデータを活用可能な形で整理・統合することで価値に変換するデータインテリジェンス能力をもとに複数産業の課題解決に注力しております。

具体的にはデジタル化が進んでこなかった市場において生活者(消費者)と事業者を、デジタル化を通じて最適な形でマッチングすることを目指す不動産DX事業、データの利活用によって企業のマーケティングを高度化することを目指すマーケティングDX事業を運営しております。

昨今においては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴う緊急事態宣言発令による外出自粛により、新規顧客開拓に対して一時的な影響が生じた一方、ビジネスにおけるオンライン活用の重要性が増したことでデジタル化の加速が生じ、当社グループの事業機会が拡大しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,014,813千円(前年同期比30.7%増)、営業利益593,540千円(前年同期比14.0%増)、経常利益600,361千円(前年同期比24.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益353,953千円(前年同期比34.7%減)となりました。

なお、当社グループでは、事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していく中、各国の会計基準の差異にとらわれことなく企業比較が可能なEBITDA(税金等調整前四半期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費)を経営指標として重視しており、当第2四半期連結累計期間のEBITDAは635,282千円(前年同期比25.2%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

また、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

#### ①不動産DX事業

不動産DX事業は、デジタル化が進んでこなかった市場において、生活者(消費者)と事業者を、デジタル化を通じて最適な形でマッチングすることを目指しており、主に「イエウール」「ヌリカエ」が属しております。

「イエウール」「ヌリカエ」共に営業活動が堅調であることに加え、自社サービスの充実及び他社メディアとの提携により継続的に集客力を強化したことで、紹介数が伸長しました。また、介護・福祉領域を新たに開始した他、不動産売却領域、リフォーム領域においても新サービスを立ち上げ投資強化をしております。

この結果、売上高は2,665,138千円(前年同期比69.1%増)、セグメント利益は467,341千円(前年同期比26.7%増)となりました。

#### ②マーケティングDX事業

マーケティングDX事業は、顧客企業のデータ資産を利活用し、マーケティング活動を高度化することを目指しており、「コンサルティングサービス」「プロダクト」の2形態からなるサービスを提供しております。「コンサルティングサービス」においては、国内企業におけるWebマーケティングの強化及びデータ活用意欲の高まりや、ウェビナー等による営業及びコンサルティング活動のオンライン化を推進したことにより、案件獲得が堅調に推移しました。「プロダクト」においては、ネイティブアド配信プラットフォーム「UZOU」のアルゴリズム開発に注力し、広告主の広告効果最大化及び媒体社の満足度向上に向け取り組みました。

この結果、売上高は3,327,735千円(前年同期比10.9%増)、セグメント利益は968,672千円(前年同期比5.5%増)となりました。

#### ③その他

その他には、「Data Platform事業」「ヘルスケア事業」が属しており、サービス拡販に向けて取り組む一方、引き続きサービス開発に注力しました。「Data Platform事業」においては、複数の異なるブロックチェーン間のインターオペラビリティ(相互運用性)実現に向け、株式会社NTTデータと技術連携を開始いたしました。

この結果、売上高は21,940千円(前年同期比0.2%減)、セグメント損失は143,326千円(前年同四半期はセグメント損失201,398千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,879,757千円となり、前連結会計年度末に比べ289,319千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が196,183千円減少、受取手形及び売掛金が464,193千円増加したことによるものであります。固定資産は775,996千円となり、前連結会計年度末に比べ30,182千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が92,121千円増加、投資その他の資産が61,162千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,655,754千円となり、前連結会計年度末に比べ319,502千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,564,265千円となり、前連結会計年度末に比べ119,094千円増加いたしました。これは主に、未払金が112,549千円増加したことによるものであります。固定負債は725,382千円となり、前連結会計年度末に比べ168,225千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が227,324千円減少、資産除去債務が59,098千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,289,647千円となり、前連結会計年度末に比べ49,131千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,366,106千円となり、前連結会計年度末に比べ368,634千円増加いたしました。これは主に、資本金が7,524千円、資本剰余金が7,524千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が359,860千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.0%（前連結会計年度末は54.5%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は4,783,426千円となり、前連結会計年度末に比べ196,183千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、140,598千円（前年同期は335,284千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益602,160千円の計上、売上債権の増加額467,834千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、47,449千円（前年同期は71,221千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出48,176千円、無形固定資産の取得による支出13,443千円、投資事業組合からの分配による収入19,484千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、262,579千円（前年同期は237,908千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出277,342千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想は、当第2四半期連結累計期間の業績の状況を踏まえ、2020年11月13日に公表しました連結業績予想を変更しております。詳細については、2021年5月14日公表の「2021年9月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,979,609	4,783,426
受取手形及び売掛金	1,466,793	1,930,987
その他	188,160	212,003
貸倒引当金	△44,125	△46,658
流動資産合計	6,590,437	6,879,757
固定資産		
有形固定資産	36,632	128,754
無形固定資産		
ソフトウェア	101,305	101,754
ソフトウェア仮勘定	28,294	27,237
その他	2,013	1,845
無形固定資産合計	131,613	130,837
投資その他の資産	577,568	516,405
固定資産合計	745,813	775,996
資産合計	7,336,251	7,655,754
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	453,350	498,267
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	504,666	454,648
未払金	339,042	451,591
未払費用	157,199	189,483
未払法人税等	246,571	209,162
賞与引当金	157,301	168,693
資産除去債務	20,121	—
その他	266,918	292,418
流動負債合計	2,445,170	2,564,265
固定負債		
長期借入金	864,265	636,941
資産除去債務	29,343	88,441
固定負債合計	893,608	725,382
負債合計	3,338,778	3,289,647
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,363,957	1,371,482
資本剰余金	1,353,967	1,361,492
利益剰余金	1,272,430	1,632,290
株主資本合計	3,990,354	4,365,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△50	△133
為替換算調整勘定	5,907	—
その他の包括利益累計額合計	5,856	△133
新株予約権	1,262	975
純資産合計	3,997,472	4,366,106
負債純資産合計	7,336,251	7,655,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	4,600,317	6,014,813
売上原価	2,131,868	2,375,245
売上総利益	2,468,449	3,639,568
販売費及び一般管理費	1,947,963	3,046,027
営業利益	520,485	593,540
営業外収益		
投資事業組合運用益	—	17,339
為替差益	—	13,401
助成金収入	800	—
その他	414	9,445
営業外収益合計	1,214	40,186
営業外費用		
為替差損	30,258	—
支払利息	3,451	3,889
貸倒引当金繰入額	—	29,352
その他	6,277	123
営業外費用合計	39,987	33,365
経常利益	481,712	600,361
特別利益		
固定資産売却益	—	1,798
特別利益合計	—	1,798
税金等調整前四半期純利益	481,712	602,160
法人税、住民税及び事業税	1,098	178,468
法人税等調整額	△61,535	69,738
法人税等合計	△60,436	248,206
四半期純利益	542,149	353,953
親会社株主に帰属する四半期純利益	542,149	353,953

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	542,149	353,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	△82
為替換算調整勘定	12,725	△5,907
その他の包括利益合計	12,645	△5,989
四半期包括利益	554,794	347,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	554,794	347,964



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	481,712	602,160
減価償却費	15,552	29,231
のれん償却額	6,531	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,428	35,343
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,357	11,392
受取利息及び受取配当金	△147	△6,270
為替差損益 (△は益)	30,682	△13,401
支払利息	3,451	3,889
上場関連費用	5,803	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	474	△17,339
売上債権の増減額 (△は増加)	△237,049	△467,834
仕入債務の増減額 (△は減少)	117,733	44,916
未払金の増減額 (△は減少)	12,865	111,249
その他の資産の増減額 (△は増加)	△992	11,960
その他の負債の増減額 (△は減少)	19,389	165,498
未払消費税等の増減額 (△は減少)	84,000	△90,108
その他	△5,661	△20,011
小計	545,131	400,678
利息及び配当金の受取額	147	6,270
利息の支払額	△3,522	△3,739
法人税等の支払額	△206,471	△262,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	335,284	140,598
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,504	△48,176
無形固定資産の取得による支出	△65,823	△13,443
投資事業組合からの分配による収入	—	19,484
敷金及び保証金の差入による支出	△854	△2,604
敷金及び保証金の回収による収入	—	100
貸付けによる支出	△2,040	△2,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,221	△47,449
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	450,000	—
長期借入金の返済による支出	△221,492	△277,342
株式の発行による収入	11,400	14,762
上場関連費用の支出	△2,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	237,908	△262,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,325	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	495,645	△169,429
現金及び現金同等物の期首残高	1,576,435	4,979,609
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△26,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,072,081	4,783,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産DX	マーケティングDX	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,576,219	3,002,107	4,578,326	21,990	4,600,317	—	4,600,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,576,219	3,002,107	4,578,326	21,990	4,600,317	—	4,600,317
セグメント利益 又は損失(△)	368,763	918,650	1,287,413	△201,397	1,086,015	△565,530	520,485

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Data Platform事業、海外事業及びヘルスケア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△565,530千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産DX	マーケティングDX	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,665,138	3,327,735	5,992,873	21,940	6,014,813	—	6,014,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,827	2,827	—	2,827	△2,827	—
計	2,665,138	3,330,562	5,995,700	21,940	6,017,641	△2,827	6,014,813
セグメント利益 又は損失(△)	467,341	968,672	1,436,014	△143,326	1,292,687	△699,146	593,540

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Data Platform事業及びヘルスケア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△699,146千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、「Data Platform事業」について量的な重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

当第2四半期連結会計期間において、従来、「X-Tech事業」としていた報告セグメントの名称を「不動産DX事業」に、「MarTech事業」としていた報告セグメントの名称を「マーケティングDX事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。